



イソブキ便り

NO.1～5まではホームページをご覧ください

NO.6 平成25年度 下半期号

須佐連絡先 080-3458-0925 / 0557-23-3501 mamo@knossos.jp



「知事広聴」平太さんと語らう IN 東伊豆町!

10/28、29の2日間、知事の領内視察とでも言いましょうか、移動知事室が賀茂の総合庁舎に置かれました。

そのうち29日には東伊豆町においてになり、昨年今年と整備を進めております細野高原をこ覧になりました。生憎の天気で視界も悪く、太平洋の一望と三筋山の全景を臨むことはできませんでしたが、担当職員の説明を一つ一つ聞いていらつしやいました。今年度だけで7千万円ほど県からの補助金を頂いておりません。

河津と合同の知事広聴には、6名の町民が提言しました。



県予算を付けていただき完成した駐車場やトイレ、道路などのハード面の整備がされました。

東伊豆町防災講演会

10/31、小川和久さんの講演会がありました。ドクターヘリから政治家の裏話まで、楽しくなる2時間でした。質疑応答では2点質問させていただきました。

一つは賀茂地区における災害拠点病院の設置について、もう一つは繁忙期における観光客の救出法についてでした。いずれも夜間にドクヘリが飛ばないことを念頭に、この地域、東伊豆町における対処法を伺ったものです。



繁忙期の観光客への対処では、国道が遮断され町が孤立した場合、自衛艦などの要請は可能かという点に着目しました。

印象に残ったのは、町が主導になって防災モデルを提案するということ。「東伊豆モデル」をPRできるといいですね。

総務経済常任委員会 視察研修

今回の視察の目的は、下呂温泉における観光的な取り組みについて学ぶことにあります。

10年前に広域合併した下呂市は、リーマンショックから東日本大震災にかけて落ち込みも見せましたが、今では宿泊客が100万人を回復し、堅調に伸ばしています。同じ温泉町として東伊豆町が学ぶことが多くありました。



東海北陸道が開通後、下呂市は着地型、発地型、広域連携の柱を掲げ、観光政策に取り組んでいます。

下呂町から石川県の内灘町へ。かつて米軍射撃場建「内灘闘争」で知られた町です。南北に細長い内灘町は、福祉バスの廃止に伴いコミュニティバス(コミバス)を走らせていま

す。東伊豆町は中山間地に園芸農家が多いことから、小回りの

利くコミバスの活用が望まれます。(11/5～8)



運行に際しては、運賃収入のほか広告収入も財源になっています。(車内広告・バス停広告・車内アナウンスなど)。

伊豆大島へ 災害ボランティア派遣

十月中旬に伊豆大島を襲った台風26号は、死者行方不明者39名を出し、土石流によって元町地区を中心とした集落を飲み込みました。

総務経済常任委員会では、災害ボランティアとして現地に入り、現地をつぶさに視察し、作業の手伝いをしました。

元町港から見る夕陽はきれいで稲取は近く感じました。

総務経済常任委員会 副委員長

議会広報編集委員会 議会運営委員会

・東河環境センター一部事務組合議員 ・健保運営協議会(副会長)

・社会教育委員会 ・交通安全対策委員会 ・給食センター運営委員会

ご声援！ありがとうございます(*^ ^)ノ



三原山の外輪山が、約1キロにわたって崩落し土砂が川に流れ込みました。川沿いの住居を中心に流出していました。

東河環境センター議会 視察研修！

東伊豆町と河津町の組合で行われているゴミ処理施設が定期改修の時期を迎えたのに伴い、どのような形での改修が一番効率的でお金もかからないかという検討がされていて、千葉の松戸市へ研修に行ってきました。

今の自治体運営では、歳出の三本柱は「医療」「介護」「ゴミ処理」だと思います。どの自治体も苦慮している問題ですが、特に施設を構えなければならぬ点で、「ゴミ処理」大変大きなお金が掛かる事業です。現在計画されている大規模

改修では、実に34億の経費が掛かると試算されます。ゴミが減っている昨今、はたしてこのような大金をかけて直す必要があるのか、慎重審議を重ねています。(11/28)



ボイラー式の焼却炉は電気を発電することができ、松戸の施設では売電をしていました。

怒涛の十二月議会！

町長「確約書」提出へ

十二月議会において、四問質問しました。

「介護の問題」

「観光産業への取り組み」

「耕作放棄地、空き家対策」

「町内の交通事情」

詳しくは「議会だより」、須佐まもるホームページをご覧ください。

マスに臨時議会がありまして、当局側から片瀬地区の防

災センターについて契約変更の申し出がありました。暮れも押し迫ったこの時期に「なんで?」という感じですが、どうやら議会の議決を経ないで追加工事を行ったといつので

議案をもらってすぐ、21日に個人的に現場を見に行きました。管理者に電話を掛け立ち会ってもらい状況を確認。その日の夜、対応を協議しました。24日の臨時議会は冒頭から動議が発動され紛糾、議員全員で現地を視察することになりました。地元区長立会いの下、三か所の追加工事の部分を

確認、その後の全員協議会では、事前着工に対し厳しい指摘が相次ぎました。そして、これ以上の屈辱はないとして断固たる対応をとることを確認しました。議運で対応を協議し、議会再開かと思われたその時、町長の減給処分を強く主張する議員7名が、議場に入らないという前代未聞の抗議行動が発生し、議会が空転しました。その後は

町長との話し合いを継続最終的に「確約書」なる怪文書?で決着しましたが、何とも後味の悪い結末になりました。事前に議会への相談があれば十二月定例会で解決できた問題、非常に残念ですね。

9時30分に議会が開会し、再開したのが16時、実に6時間も空転したことになります。これ以上の行政のムダがあるでしょうか。議会中、課長級は議場に缶詰、当然行政サービスに滞りが生じます。担当課の不祥事に責任をとれない町長、行政に不信感を残す結果となりました



議会の承認を得ないまま追加工事が行われた「片瀬地区防災センター」。議会の存在感を示すことができた。

河津町・東伊豆町

合同議員研修会

- ・新人議員として町のため、伊豆半島のために奮闘します (ノ^ ^)
- ・詳しい内容は、須佐まもるホームページ、ブログ、議会だよりをご覧ください。

Facebook / Twitter @MamoruSusa HP http://knossos.jp/giin_mamoru/face1.htm



スサノオがこの町にひそむ八岐大蛇 (防災・医療福祉・観光・商工・農林水産教育・雇用・行政改革の諸問題) に取り組みます \(*´`)/



新年の初仕事、河津町・東伊豆町合同の議員研修会を行いました。前日から資料作りにかのセツトと大忙し、県の危機管理局と土木事務所より職員お招きし、「巨大地震にどう対応するか」という演題で、おもに「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013」についてお話を聴きました。(1/10)



これまでの防波堤に「粘り強い」補強をして乗り切るといっていますが、その実態はどのようなものなのでしょう???

地熱活用に関する

合同調査検討会

1/17・18と、長崎県の小浜温泉へ地熱・温泉熱利用の見学会に行ってきました。以前から熱川温泉の可能性を調査しているNPOのREDS湘

南さんのはからいです。

この視察には慶応大学の教授や学生、関係企業の方々、南伊豆町と東伊豆町の源泉所有者、温泉組合の関係者、東伊豆ECOツーリズム協議会のメンバーと、総勢20名が参加しました。エコツアーメンバーは、ジオツアー・エコツアーの視察も兼ねます。

長崎県の雲仙は普賢岳の噴火で知られるところですが、あれからも25年も経つんですね。早いものです。島原半島ジオパークは2008年に日本ジオ認定、翌09年に世界ジオに認定され、2013年に再認定されています。伊豆半島も学ぶところがありそうです。



小浜温泉は半島の西海岸に位置し、約30の源泉がある温泉場です。一日約1万5千トンの湧出量があります。

市民と行政で考える

協働の基盤づくり

NPOのプレゼント講座in伊豆が1/22あり参加しました。「市民と行政で考える協働の基盤づくり」ということで、最近、よく聞くようになって、「協働」のまちづくりを、伊豆地域の人口データなどを踏まえ学びました。

先進地の事例として、浜松市の「種から実り」、佐賀市の「協働推進窓口」設置、静岡県の「一人一改革運動」などなど。

地方自治には団体自治と住民自治の概念があつて、住民自治に沿った政策提言をすることが大切だと考えています。そういった意味でもこの「協働事業」はとても大切です。町内からダンスで町を盛り上げようというNPO法人のGoodysのメンバーが参加していました。同級生が中心になって、好きなことを通じて町を考える姿に頼もしさを感じます。自分たちのECOツーリズム協議会も頑張らないと!

第一回定例会開催!

平成26年、第一回定例会が招集されました。今回は初めて町長の政治姿勢について質問しました。ドキドキ!

- 1 町長の政治姿勢について平成18年の第2回定例会は、町長が就任して初めての定例会であつたが、その際の基本姿勢について達成度を伺う。
- 2 図書館の運営について
- 3 男女共同参画社会について。(2/21)

南伊豆町に

行ってきました

南伊豆町にセルフ視察?に行ってきました。朝から南伊豆



道の駅にある直産所、平日にもかかわらず大勢の人でにぎわっていました。



後援会大募集!

【所属委員会】 総務経済常任委員会 副委員長

・議会広報編集委員会 ・議会運営委員会 ・東河環境センター一部事務組合
議員 ・健保運営協議会(副会長) ・社会教育委員会 ・交通安全対策委員
会 ・給食センター運営委員会

【議員連盟】

・東部MICE振興議員ネットワーク ・発達障がいの支援を考える議員連盟

東伊豆町に派遣された環境省エコツーリズム推進アドバイザー派遣事業の報告会が、3月4日に東京の日本交通公社で開かれました。

エコツーリズム推進アドバイザー派遣事業報告会



“元気な百姓”の皆さんによる休耕地の菜の花畑。たかが菜の花ですが、住民の熱意が表れた黄色い世界です。

議会を傍聴、一般質問は聴くことができませんでしたが、議案審議について特に、協働のまちづくり条例が大変参考になりました。
その後「みなみの桜」を見たり、道の駅で農産物の販売所を見学させてもらいました。
圧巻は菜の花畑。何へクターもあるでしょうか素晴らしい眺めでした。(2/26)



関係者50名を集めて行われた報告会。平成17年度から行われる事業で、これまで97団体に派遣されています。今年も18団体に派遣されました。

東伊豆町の「東伊豆エコツーリズム協議会」もこの事業に採択され、元稲取温泉観光協会事務局長だった渡邊法子さんが講師として派遣されました。報告会には2団体が選ばれ、団体の代表者とアドバイザーによる報告が行われました。東伊豆エコツーリズム協議会も報告に立ち、東伊豆町の自然景観や歴史的産物の持つ魅力について報告しました。
いま町が力を入れている細野高原も、最初注目したのは渡邊さんの様々な試みから。そのことを忘れて関心をよせない行政の姿がある。今後とも私たち協議会は、新たな観光の魅力探しにがんばっていききたい。

卒業式シーズン到来

きょうは地元幼稚園の卒業式でした。今年度は16名が元気に卒業します。先生や来賓の話をしっかり聞いて、とても立派でした。

少子化は深刻です。自然環境、育児環境、こんなによいところなのに、やはり糧を得ないことには生活は成り立ちません。

園長先生が「三つのがんばる」の話をしてくれて、子どもたちもよくわかっていようでした。「ちょっとがんばる」「最後までがんばる」「みんなと一緒にがんばる」なんだか、自分の人生にも通じることだと思いました。



自分の娘の時は何人いたのか憶えていませんが、1/3いや1/4ぐらいに減ったかもしれません。

「がんばる」という言葉を控えようという風潮の中、やはりさまざまなシチュエーションの中で、がんばることの大切さを感じます。そして、父母には「手を放し目を離さず」と一言、なるほどなど思いました。(3/14)

市民農園の造成すすむ!

今年度最後の市民農園推進協議会がありました。平成28年度開園に向け会議・視察を重ねられ、造成工事も進んで分譲地かと思われるほど立派な農園がつくられています。この50区画ある農園に、どれだけの人が興味を寄せるのか、観光や定住につながるのか、研究したいと思います。



利用者の利便性を考えた「ラウベ」というコテージを作ることも検討されています。町民で借りる人も出るかな?